

教育委員会（ 1 1 月 ） 会議録						
招 集 年 月 日	令和 4 年 1 1 月 2 4 日（木）					
招 集 の 場 所	白馬村保健福祉ふれあいセンター 2 階 学習室					
開 閉 会 の 日 時 及 び 宣 言	開 会	令和 4 年 1 1 月 2 4 日（木） 午後 2 時 0 0 分				
	閉 会	令和 4 年 1 1 月 2 4 日（木） 午後 3 時 2 6 分				
出 席 委 員	職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	教 育 長	平 林 豊	委 員	田 口 令 子	委 員	武 田 弥 生
	教育長職務代理者	幅 下 守	委 員	松 沢 亨		
事 務 局	教 育 課 長	横 川 辰 彦	子 育 て 支 援 課 長	下 川 浩 毅	生 涯 学 習 ス ポーツ課長	松 澤 宏 和
	公 民 館 長	横 川 秀 明	子 育 て 支 援 課 長 補 佐	内 山 明 子	教 育 係 長	中 村 由 加
	子 育 て 支 援 係 長	松 澤 拓 哉				

会議の要旨

1 開 会

[教育長]

開会を宣言した。

2 令和 4 年 10 月 定例会 会議録について

異議なく承認された。

3 報 告

○教育長報告

2 日に白馬南小学校環境緑化モデル事業「築山」の完成式典が行われた。株式会社ローソンが店頭で集めた募金を活用して、中庭に築山の整備とオオヤマザクラの植樹も併せて行なった。

5 日に白馬村表彰式が開催され、長澤昭壽氏が文化功労賞を受賞された。

7 日に市町村教育委員会連絡会があり、来年度の大北縦断駅伝は、選手の安全確保の観点から縦断を止め、大北駅伝大会になる予定である。

9 日に B&G 全国教育長会議が開催され、広島県平川教育長から、不登校支援、入学者選抜制度改革など、広島県の取り組みについてお話をいただいた。

15 日に大北法人会から小学 6 年生に対して、租税に関する下敷きをご寄贈いただいた。

17 日に全国 ICT 教育首長サミットが開催され、日本 ICT 教育アワードで受賞された自治体（東京都渋谷区・富山県氷見市・奈良県生駒市）の実践発表及び文科省初等中等教育局 武藤チームリーダー、東京工大赤堀教授、放送大学中川教授、関西大学黒上教授による最新の国の動向や先進的な実践を紹介いただいた。

全国 ICT 教育首長協議会には、22 年 8 月末現在 130 の自治体が加盟している。

22 日に北林力選手・切久保仁朗選手・花澤楓也選手・切久保絆選手・大島ひなの選手に、白馬村スポーツ功労賞の授与と 11 名の選手にスキースポーツ育成振興奨励金を支給した。

白馬南小学校 PTA が、昨年の断熱材改修活動が評価され、文部科学大臣表彰の優良 PTA 団体校として表彰された。

新型コロナウイルス感染症については、病床使用率が 60%を超え、医療への負荷が増大しています。また、オミクロン株の新たな亜系統である「BQ.1.1」ケルベロスや「XBB」グリフォンなどが県内でも確認されており、今後の置き換わりが懸念される場所である。

中学校においては、1 年 1 学級の感染者が増加していることから、今日明日オンライン授業に切り替えている。

○教育課長報告

新型コロナウイルス感染症について、11月は小学校で感染が拡大したため学級閉鎖の措置をとっているが、現在、小学校での感染は落ち着いている。11月1日から本日までの罹患者数は42名の児童生徒と6名の教員である。

2022-2023シーズンのスキー場利用について、白馬村索道事業者協議会に児童生徒のリフト利用について昨年度同様に無料としていただきたいとお願いしていたが、本年度についても無料で利用させていただくことになった。さのさかスキー場も本年度は一部営業されることになり、扱ひも他のスキー場と同様としていただける予定である。

11月1～3日にかけて、白馬山麓事務組合の北海道視察に同行し、2校を視察した。福島町の福島商業高校は、人口減少から全国募集を始める予定で、宿泊施設と併用した寮を建築中であり、運営計画等を伺った。また、余市町の北星学園は、全国から不登校や高校を中退した生徒が集まる高校で、町内に20件ほど下宿があり、寮以外の民間下宿について運営や状況を伺ってきた。北海道は面積が広いため高校も小規模で点在し、札幌からオンライン授業の配信等を行っており、独自の運営方法が参考になった。

○子育て支援課長報告

来年度の保育園等の入園申し込みは、0歳児8名、1歳児23名、2歳児31名、3歳児36名といった状況で、3歳未満児の総数は62名である。3歳未満児では、来年度から2歳児定員6名を受け入れることになった白馬幼稚園は5名の申し込みあり、ファミリアはくばは8名の申し込み(うち第2希望(保育園)がある児童は7名)があった。3歳児では、来年度から認定こども園となるしろうま保育園の1号認定(教育標準時間)の児童4名の申し込みがあった。入園の決定については、1月下旬までに決定し保護者あてに通知する。参考までに、来年度の白馬幼稚園の入園申し込み状況は、3歳児(年少)定員24名に対し、24名の申し込みがあったと聞いている。

出産・子育て応援交付金について、国の補正予算が今国会に提出されたが、そのうちの事業である出産・子育て応援交付金、妊娠時に5万円、出生時に5万円相当をクーポン等で給付する事業が始まる予定である。詳細については、次回以降の教育委員会で報告させていただく。

○生涯学習スポーツ課長報告

10日に図書館等複合施設の官民連携調査事業の会議を行い、モデルプランの作成について検討した。

また、11日から14日にかけて公民館関連事業として、白馬そば塾の協力により河津町にて新そば祭りを開催した。

○公民館長報告

4日から6日にかけて第52回白馬村文化祭を開催し、延べ2,000人の来場者があった。3年ぶりに有観客でステージ発表を行い、姉妹都市交流も行った。

12日に伝統文化民謡邦楽体験の実施と、地元出身の山本さんの民謡コンサートを開催した。体験には12組の親子、コンサートには100名程の来場者があった

22日には神城断層地震8周年ということで、アーカイブ事業の一環として白馬南小5・6年生の防災教育を実施した。信州大学の廣内教授らを講師に迎え、村内をバス移動してフィールドワークを行った。なお、16日から12月2日まで、役場村民ホールにて災害アーカイブ展を開催している。

○学校の報告

11月21日の校長教頭園長合同会議で報告のあった事項を、教育係長、子育て支援係長が報告した。

○保育園の報告

11月21日の校長教頭園長合同会議で報告のあった事項を、子育て支援課長が報告した。

4 議事

○承認第 26 号 指定校の変更について

[教育課長]

村内の小学校において指定校を変更したい児童 1 名について許可したので、承認を求める。期間は令和 4 年 11 月 21 日から令和 5 年 3 月 31 日まで。

・全員賛成で承認された。

○承認第 27 号 白馬北小学校の臨時休業について

[教育課長]

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、白馬北小学校において、特別支援学級の 1 学級を 11 月 10 日から 11 日まで、6 学年の 1 学級を 11 月 11 日から 14 日まで、5 学年の 1 学級を 11 月 11 日から 15 日まで、学級閉鎖にしたので報告する。1 学級に複数名の感染者が出たことから、ルールに従って学級閉鎖を行った。

・全員賛成で承認された。

○議案第 66 号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係規程の一部を改正する規程について

[教育課長]

定年の延長により地方公務員法の一部を改正する法律が施行されたので、教育委員会関係の定年延長に関する規程も改正する。今回の法改正により役職定年ができたことから、白馬村立学校職員服務規程の第 15 条中に「(役職定年による場合も含む)」という文言を加える。60 歳が役職定年で、60 歳を超えると降任する。また、学校職員の勤務時間等に関する規程では、従前の「再任用短時間勤務職員」を「定年前再任用短時間勤務職員」という文言に変える。段階的に 65 歳まで定年が延びていくが、定年後の再任用において短時間勤務が得られることになったので、それに対応するための用語の変更等である。令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

・全員賛成で可決された。

○議案第 67 号 指定校の変更について

[教育課長]

村内の小学校において指定校を変更したい児童 1 名について、許可を求める。期間は令和 4 年 12 月 5 日から令和 5 年 3 月 31 日まで。

・全員賛成で可決された。

○議案第 68 号 通級指導教室への通級許可について

[子育て支援係長]

通級指導教室への通級の要望があった 1 名について、説明し許可を求めた。

・全員賛成で可決された。

○議案第 69 号 令和 4 年度白馬村準要保護者の認定について

[教育課長]

新たに申請のあった 1 世帯 1 名について、認定要件をクリアしているので認定したい。

・全員賛成で可決された。

○議案第 70 号 令和 4 年度白馬村一般会計補正予算(教育関係)に対する意見について

[子育て支援係長]

「学生等応援給付金事業」では、大学等に進学した子どもたちが、新型コロナウイルス感染症の影響により経

済的に厳しい状況になっているのを改善するため給付金の給付を行っている。国からの新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用した村独自の事業であるが、来る第 8 波に備えるために簡易検査キットを購入する必要があることから、給付実績に合わせて 110 万円を減額し、キット購入に財源を回す。「しろま保育園運営事業」では、臨時的任用職員雇用と給料改正により給料を 139 万円増額補正している。また、広域入所の負担金で、県外に里帰り出産した者の 1 歳児の幼稚園入所費 8 か月分として 60 万 4,000 円の増額補正となっている。

[教育課長]

「学校環境整備事業」の委託料 91 万 6,000 円の増額は、白馬中学校の ICT セキュリティ対策に係るものである。「スクールバス運行事業」では、委託料を 4 万円減額して、施設借り上げ料に計上するもので、バス停の借り上げ料である。「学校給食センター事業」では、準要保護援助費の給食費の部分を実績に応じて 28 万円増額する。「南小学校管理事業」では、第 8 波に備えて学校保健特別対策事業補助金の上限枠が増額されたことに伴い、感染対策に係る消耗品購入費として 14 万円を増額計上している。「南小学校教育振興事業」では、準要保護援助費の学用品や新入学費を実績や見込みに合わせて 12 万 8,000 円増額している。「北小学校管理事業」では、学校保健特別対策事業補助金を活用した感染対策に係る消耗品購入費として 21 万円を増額計上している。「北小学校教育振興事業」では、準要保護援助費の学用品や新入学費を実績や見込みに合わせて 30 万 1,000 円増額している。「中学校管理事業」では、学校保健特別対策事業補助金を活用した感染対策に係る消耗品購入費として 11 万円を増額計上している。「中学校教育振興事業」では、準要保護援助費の学用品や新入学費を実績や見込みに合わせて 33 万円の増額。また、印刷製本費で、当初予算に計上されていなかった国語テストの印刷代 25 万 2,000 円を計上している。

[生涯学習スポーツ課長]

「社会教育一般事業」では、給与改正により職員手当で 10 万円の増額補正となっている。「図書館事業」では、電気代の高騰により光熱水費で 17 万円の増額補正、事務 OA 機器借上料において、図書館システム貸借料 1 ヶ月分として 20 万 6,000 円の増額補正となっている。「伝統的建造物群の保存事業」の普通旅費 3 万 7,000 円の増額は、青鬼地区内砂防事業に係る文化庁の現地指導に係る旅費である。伝建物修理補助金 129 万 6,000 円の増額は、青鬼神社が経年劣化により傾いてしまったため、倒壊防止措置としてつかえ棒 4 本程を入れる補強工事を青鬼地区で行うが、その工事に対する村からの補助金の増額計上である。補助率は 8 割 5 分であり、この補強工事は仮設の応急的な措置であり、来年度以降に工法等を検討した上で本工事を行う予定である。

[委員]

「学校環境整備事業」の白馬中の ICT セキュリティ対策であるが、タブレットは国の補助金で導入したものであり、この委託料についても何らかの補助金を活用できないのか。

[教育課長]

中学のタブレットは、GIGA スクール構想の 1 人 1 台端末の前から導入していたもので、国庫補助で整備したのではない。この委託料についても、活用できる補助金がない。

[委員]

青鬼神社の補強工事は、国や県の補助金を活用しないのか。

[生涯学習スポーツ課長]

今回の応急的な措置は、国や県の補助金の対象外。保存のための本工事については、国や県の補助金対象となると思われる。

・全員賛成で可決された。

5 その他

(1) 氷河調査・図書館等複合施設整備について

[生涯学習スポーツ課長]

氷河調査については、唐松沢が氷河ということで確認されており、現在は不帰沢、杓子沢、白馬沢の 3 つについて新潟大学により調査が行われ、令和 4 年度末には氷河の確認がされる予定である。認定後も継続調査を行いたいと新潟大学から寄せられており、資金面も含めて検討していく。

図書館等複合施設の整備については、先月官民連携の勉強会やアンケート、あそびまなびフェス等も実施している。検討委員会とは別に、官民連携の調査事業の中で受託業者である建設技術研究所がモデルプランを検討している。

(2)12月の日程について

・3日に「はつゆきコンサート」、10日に「こーみんまま・ばぱのクリスマスパネルシアター」、17日に「ジャズフェスタ」が開催される。

・次回定例会は、12月23日(金)午前10時から。

(3)その他

・特になし

署 名 欄	
教 育 長	
教 育 長 職 務 代 理 者	
委 員	
委 員	
委 員	